

2008 年度

科目名 日本風俗文化史 A	対象学科・学年 文学部全学科 3 回生 教育教福 3 回生 人間人社 3 回生	担当者 乾 澄子
授業テーマ 王朝の風俗と文化		
授業の概要と目標 現在の私たちの風俗や文化には、さまざまな歴史的背景がある。なかでも自然観や行事の多くは400年続いた平安時代の貴族たちによって育まれてきた。自然豊かな日本の風土において、四季折々の季節にふさわしい生活を送ることが、何より教養あるものとされてきた王朝人の知恵を学んで行きたい。そして現代まで受け継がれているもの、すでに消滅したもの、形を変えたものなど、現代との関わりを考える。		
評価方法 学生による発表、報告を中心に、期末レポート、出席状況、授業への参加意欲などを総合して評価		
テキスト プリントを配布	著者	出版社
参考書 適宜授業中に紹介	著者	出版社
授業スケジュール・内容 <内容> ○今学期は主に貴族たちの日常生活について学ぶ。 ○さまざまな行事について、『源氏物語』『紫式部日記』『枕草子』『古今集』などの文学作品を通じて当時の人々の感じ方、考え方を学習（なお古典作品については口語訳付きのテキストを用いて解説する）。 ○現在の我々の生活との違いや受け継がれている点などについて考える。 ○前半は講義形式、後半は受講者による発表。 <スケジュール> 1. ガイダンス 2. 王朝時代の基本的な社会的背景を説明 3～5. 誕生・出産 成人式（元服・装着）結婚 葬送について解説 6. ～ 14 受講生による発表と討議 衣裳、音楽 信仰 建物 食べ物 医療 などについての報告 15. まとめ ☆ 国際的な感覚が求められる時代、まず自分たちの国の文化を学ぶことが、他の国の文化、習慣、思考を理解することの第一歩です。いろいろな地方の行事、外国での様子など、お互いに意見交換できたらと思っています。		